

リチウムイオン電池の火災に注意！

皆さんはリチウムイオン電池(LIB)をご存じでしょうか。LIBは充電が可能な電池で、スマートフォンやパソコンなどの家電製品に使われていますが、充電中や使用中のLIBから出火する火災が増えています。

【事故事例1：スマートフォン】

階段で足を滑らせて尻もちをつき、ズボンの後ろポケットに入れていたスマートフォンのバッテリーパックが破損したことでショートし、衣類に着火しやけどした。

【事故事例2：携帯用扇風機】

携帯用扇風機を落下させてしまい、バッテリーの内部に強い衝撃が加わることで異常発熱につながり出火した。

【事故事例3：ごみ収集車】

一般ごみと一緒に捨てられたLIBがゴミ収集車内で押しつぶされて出火した。



リチウムイオン電池搭載製品の気を付けるポイント

1. 衝撃を与えない！
2. リコール対象製品は使用しない！（不具合が生じてなくても）
※リコール対象製品は経済産業省ホームページでご確認ください。
3. 製造事業者や輸入事業者、販売事業者が確かな製品を購入する！
4. 非純正品のバッテリーの取り扱いに注意する！
5. 分解や改造などをしない！
6. 埋立ごみなどと一緒に捨てない！



救急出場状況

(9月分)

労働災害	1件(1人)
一般負傷	3件(2人)
急病	7件(6人)

9月計 11件(9人)
累計 172件(146人)
※()内は搬送人員

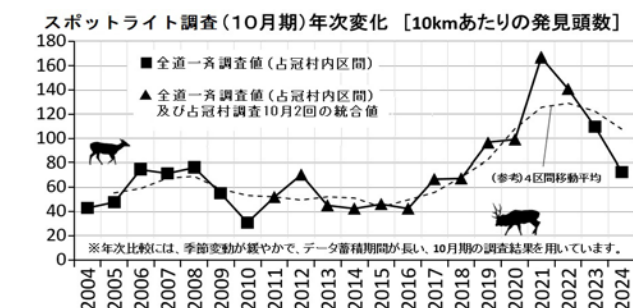
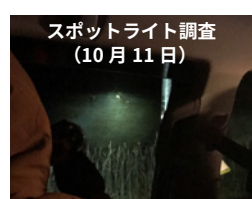


野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56 - 2174

エゾシカ

今年9月のシカ駆除は55頭に上り、前月に続き同月の過去最高値となりました。4～9月の累計値も過去最高の310頭に達していますが、これが生息個体数の増加を示すものかは分かりません。シカの生息密度指標を取るスポットライト調査の結果(下図)では、約10年前から始まった増加の動きが過去3年程度の間に減少に転じた可能性が示されています。日頃の地道な捕獲の成果と言えるのかもしれません。



ヒグマ

10月以降もヒグマの状況は静穏に経過しています。人家周辺でのヒグマの活動情報が秋に少なくなるのは例年の傾向で、昨年のような狂騒は異常なのですが、今年の静けさもまた異常かもしれません。

10月25日、酪農学園大学の伊藤講師の調査チームは村専門員と捕獲従事者の支援の下、今年2頭目の学術捕獲を実施しましたが、麻酔が不調で作業中に危険を生じたため殺処分せざるを得ず、残念ながら標識装着と放逐はできませんでした。当調査4年目、通算8頭目にして初めての失敗でした。原因を検証し方法を改善して次に臨めたらと思います。

◆猟区の入猟対応について

10月は延べ11日の一般入猟で捕獲7頭とやや渋い滑り出しです。他に北海道の技術者研修があり、道内各地からの受講者さんがシカの生態や安全な捕獲方法について学びました。



捕獲技術実践研修
(10月27日)



地域とともに

コミュニティ・スクール情報
～トナム学校～

教育委員会学校教育担当 56 - 2182

1日防災学校(北海道シェイクアウト)と避難訓練(不審者対策)

9月6日(金)、富良野消防署占冠支署の奥平さん、山田さんにご協力いただき、中休みに地震が起き、その後火災になる想定で北海道シェイクアウトおよび避難訓練を実施しました。実施後、音楽室を会場に煙体験をしました。子どもたちはあまりの見通しの悪さに驚いていましたが、しっかりと避難することができました。

その後、占冠村役場総務課防災担当の野原さん、増子さんを講師に、前期課程生は防災教育ゲーム「いえまですごろく」を用いた学習を、後期課程生は協力型防災ゲーム「LIFE」を用いた学習を行いました。



協力型防災ゲーム「LIFE」

9月9日(月)には富良野警察署占冠駐在所の村田さんに来ていただき、不審者が学校に現れた想定で暗号放送を用いた避難訓練を行いました。教職員・児童生徒とともに防火扉などを活用しながら避難することができました。学校運営協議会でも危機管理について話題になりましたが、今後も安全安心な学校をめざして取り組みを続けていきます。



煙体験

人権教育、SOSの出し方に関する教育

10月2日(水)には、占冠村人権擁護委員の多田智恵先生、藤田まき先生を迎え、人権教育およびSOSの出し方に関する授業を行いました。授業の中で、他人と自分の違いを認め合い、困ったり、つらくなったりしたときには、周りの人に助けを求めることの大切さを学びました。社会が急速に変化し、先を予測しにくい世の中ではありますが、自分で切り拓き、力強く生きていくためには、互いに尊重し合い、助け合って生きていくことが大切であることが分かりました。貴重なお話を聞かせていただき、子どもたちも深く考えるきっかけになったことと思います。ありがとうございました。



前期課程



後期課程



こちら駐在所です

占冠駐在所
56 - 2110

女性に対する暴力対策の推進

～ ストーカー、配偶者等からの暴力事案の防止について ～

ストーカー、配偶者や交際相手からの暴力で悩んでいませんか。「恥ずかしい」「大げさにしたくない」と一人で抱え込まず、事が大きくなる前にできるだけ早く相談しましょう。

警察では、被害を拡大させないために、相手に対する警告、禁止命令や検挙等の措置、被害者を保護するための一時避難等の支援措置を取ることができます。

一人で悩まず、早めの相談が被害の未然防止、拡大防止につながりますので、各警察署の相談窓口、相談ダイヤル「#9110」または各市町村に相談してください。



10月に着任した倉本です。函館市から来ました。この地域に早く慣れて皆さんの安全安心のために励みたいと思います。



占冠駐在所
倉本 浩二 巡查長